

安心して住み続けられる行徳に

雇用・地域経済 対策の強化を

景気悪化により、公共事業もどんどん減っています。事業者は仕事を確保するために、市の事業に低価格で入札し、低価格競争が激化しています。受注価格が安くなると低賃金雇用が広がり、赤字覚悟で受注できないところは入札参加すらできず、地域経済は疲弊していきます。

党市議団は、雇用と経営が成り立つ適正な価格と地元事業者を優先した入札に改めるよう強く求めてきました。改善の一定の方向性は示されましたが、公契約条例制定など改善が具体化するまで、全力でがんばります。



昨年6月 景気雇用対策の緊急申し入れ

三番瀬の豊かな環境を誇れるように

市川市は、「自然病む三番瀬の再生には人工干潟が必要」と千葉県知事に要望書を提出しています。しかし、環境省や千葉県調査でも猫実川河口域は三番瀬の中で最も多くの底性生物が生息し、稚魚の餌場・生育場となっていることが明らかになっています。残念ながら現状はゴミの不法投棄などですすんでいます。

市川市民が三番瀬の豊かな環境を大切に、誇れるよう、さらにアピールしてがんばります。



昨年7月 三番瀬クリーンアップ作戦にて

行徳の歩道の安全対策さらに

行徳地域の危険なフタかけ歩道の安全対策を何度も求め、現在約3割まで安全対策が進み、9月議会では福栄2丁目のコミュニティバス路線含め3か所の歩道のバリアフリー化が補正予算で組み込まれました。

今後も、現地調査をして、具体的な箇所で働きかけていきます。お気づきのことがありましたら、ぜひお寄せください。

子育て支援、高齢者・障害者福祉の充実

市川市の保育園待機児は約700人、行徳で約320人。今年4月90名定員で広尾に保育園が開設しても間に合いません。国で検討している保育所最低基準引き下げを止めさせ、子どもを安心して預けられる認可保育園の増設と子ども医療費助成拡大など、子育て支援に力を入れます。

広尾に特別養護老人ホームが実現。ひき続き、行徳に軽費の高齢者福祉施設と障害者と家族を支援する拠点づくりを求めます。

市民の願いにかなった 総合病院の実現を

浦安市川市民病院が昨年民営化され、浦安市と市川市が全額負担して2年後に新しい施設で開業できるよう建て替えがすすんでいます。新病院の医療が「協定書」に基づいて市民の願いにかなったものとなるよう、今年も働きかけていきます。



谷藤利子

日本共産党
市議会議員5期

党市議団幹事長
総務常任委員
議会運営委員
行徳臨海部特別委員
福栄在住 ☎398-5948

不況や庶民増税がすすむなか、仕事、子育て、医療介護などの切実な声が連日寄せられています。私はこうした声を粘り強く取り上げ、税金の使い方を正し、要求実現のため今年も全力でがんばります。

市議会議員 谷藤利子



昨年8月 地元のみなさんから要望をきく谷藤市議（中央奥）



昨年1月 障害者小規模作業所をたずねる